

## 今後のスケジュール

	2024 (R6)				2025 (R7)			
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
受け入れ準備 ・受け入れ	<b>万博準備のために来訪する賓客受け入れ業務</b> ・通訳の手配				<b>受け入れ業務</b> ・ND、SD対応の通訳等のシフト作成 ・VIP会場内他施設視察調整 ・日報作成 など			
	<b>賓客受け入れ実務の準備</b> ・基本計画の策定 ・受け入れ業務に関するマニュアル作成 ・日報案の作成 など		<b>受け入れ最終調整</b> ・関係各所との受け入れに関する最終調整 ・シフト案の作成 ・執務スペース整備 など					
システム構築・運用	<b>システム構築準備</b> ・要件定義		<b>システム構築</b>	<b>利用者向けトレーニング</b>	<b>システム運用・保守</b>			
	<b>地元歓迎レセプション準備</b> ・地元歓迎委員会事務局の立ち上げ及び会議の運営 ・レセプション実施案の作成及び会場予約 など							
地元歓迎レセプション	<b>地元歓迎レセプション</b> ・招待状の送付、出席者の集約 ・会場との各種調整 ・当日の運営 など							
会期後					<b>会期後の業務</b> ・執務スペースの備品撤去 ・報告書作成 など			

## 補足①：愛知博における国内外の賓客対応実績

	種別	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	合計
件数	国内	7件	24件	34件	31件	45件	42件	35件	218件	489件
	海外	12件	47件	33件	40件	40件	40件	59件	271件	
人数	国内	53人	192人	266人	234人	354人	269人	342人	1,710人	5,589人
	海外	137人	735人	381人	733人	419人	472人	1,002人	3,879人	

- H17年に開催された愛知博（120か国・4国際機関が参加）においては、開催者である博覧会協会のみならず地元自治体である愛知県においても、会期中に489件5,589名の国内外の賓客の受け入れを実施。
- 前述のとおり、大阪・関西万博においては愛知博の1.3倍以上の参加国数となる見込みであることから対象者数も増加する予定。
- また、開催都市である大阪への日本全国からのアクセスの良さを鑑みれば、国内賓客についても愛知博と同程度又はそれ以上の来訪を想定。

# 大阪・関西万博における賓客の受け入れ等業務委託

## 補足②：大阪・関西万博のND・SDにおける標準的な動き

標準スケジュール (予定)		参加国の動き	地元自治体の動き	備考
ND前日		参加国開催地到着	地元自治体代表者が空港又は出迎え	公用車及び通訳が必要
ND当日	9 : 30	参加国迎賓館到着		
	10 : 00	公式式典		
	11 : 10	会場視察	地元自治体代表者が出席	通訳及びカートが必要
	12 : 15	午餐会		
	13 : 20	記者会見		
	夕刻	参加国による答礼レセプション	地元自治体代表者が出席	通訳が必要

- ND・SD開催にあたっては、外務省から愛知県に対し空港・駅への出迎え要請あり。他の国際会議（G7・G20）でも地元自治体に対しそういった要請があることから、今回も府市に対し同様の要請があることが見込まれる（なお、滞在期間は国ごとに異なるため、同一日に複数の国の出迎えが生じる可能性あり）。
- ND・SDにおいては、会場視察の際に開催国政府館に加え、地元自治体館訪れる可能性あり。その他の賓客も地元自治体館である大阪ヘルスケアパビリオンを訪れる可能性が高いことから、準備段階において綿密な受け入れ調整を行う必要あり。
- また、公式行事終了後には参加国による答礼レセプションが開催されることが多いが、この場合、開催者及び政府関係者に加え地元自治体代表者も招待されるのが通例であり、アテンド及び通訳の随行が必要となる可能性が高い。
- 上記のとおり、ND・SDに従事する職員は多くの場合、長時間会場内に滞在する必要があることに加え、国内賓客対応に従事する職員も1日に複数の賓客対応が生じる可能性あり。
- 効率よく業務を遂行するためにもこれらの職員の活動拠点（サテライト）を確保する必要あり。